

デンソー山岳部 2018年度 春山合宿報告書

■山域 群馬百名山 谷川岳、武尊山、赤城山

■日程 2018年04月28日～30日

■メンバー 松浦(CL、装備、気象)、岸上(SL、記録、会計)



概念図

<1日目> : 04/28(土)晴れ【岸上 記】【行動記録】歩行時間＝7時間40分（休憩含む）

谷川岳ロープウェイ P（7:50）→田尻尾根分岐（10:20）→熊穴沢避難小屋（11:20）
 →天狗の溜まり場（12:10）→肩の小屋（12:50）→トマノ耳（13:10）
 →谷川岳（オキノ耳）山頂（13:30）→熊穴沢避難小屋（14:30）→天神平（15:10）
 →谷川岳ロープウェイ P（15:30）

金曜日に午後休を頂いて、15時に愛知を出発。松浦さん宅へ15時に到着。群馬県水上の道の駅に21時に到着。しっかりと前夜祭をやって、翌日朝に谷川岳ロープウェイPへ。田尻尾根にとりつく登山口がわからず（地図も間違えてた）、鉄塔への道を登ってしまい、40分ぐらいロスをしてしまった。ようやく、登山口が見つかり、緩やかな道を登り始める。1200mを超えたくらいから雪が本格的に付いていて、夏道が見えなくなり普通に歩けない。殆どの登山者はロープウェイを使うので、トレースもなく、道も荒れている。雪山のルートを的確に歩くのは難しく、マークを探し、見つからない時は尾根沿いを歩く、藪漕ぎも何度かして、ようやく天神平から来る分岐に到着。そこからは、トレースがあるため、アイゼンをつけて快調に歩く。途中一箇所、岩場がありアイゼンを付けて通行するのが難しかったが、そこ以外は問題なし。雪上の下りは、ザックザックとリズムカルに下りていけたが、登りの時間ロスが響き、時間を考えて天神平からはロープウェイを使用。下山後は、地元のスーパーで買い出しして土合山の家で宿泊。土合山の家はカメムシの巣らしく、ガムテープを使い、カメムシの駆除に時間を費やして安眠にたどりついた。



天神尾根からの谷川岳



谷川岳山頂

<2日目> 04/29（日） 晴れ 行動時間 7時間40分 【岸上 記】

裏見ノ滝駐車場(7:50) → 武尊山分岐(8:40) → 手小屋沢避難小屋付近(10:00)
→ 武尊山頂上(11:40) → 剣ヶ峰山頂上(12:50) → 武尊山分岐(14:50)
→ 裏見ノ滝駐車場(15:30)

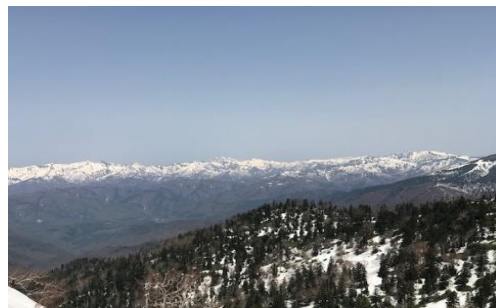
裏見の滝から歩き始め、1500mを超えたら完全に雪山。アイゼンを付け、夏道とは違う道をトレースを辿ってショートカット。安全な場所ではこれが雪山の醍醐味と聞かされ、黙々と登っていく。夏道にもどったのは山頂直前だった。山頂付近だけは風と日当たりの影響で雪がつきにくいんだと納得。その後、剣ヶ峰山へ。剣ヶ峰山頂付近は斜度がきつく、慎重に歩いた。山頂を少し下ると、道幅が狭い道に短いロープがついている場所があったが、掴んで下りる事ができないくらい劣化しているため、雪道を下るのが大変だった。いっそ、完全に雪道なら楽だと思いながら土や岩が出ている部分もあり、明らかに滑ったらやばい感じの場所が多い。リーダーに、バックステップで下りるようにアドバイスをもらい、アイゼンとピッケルを挿しながら一歩ずつしっかりと下りた。斜度が緩くなると、急にスピードが上がり、ザックザックとリズムカルに下りていった。下山した後は、みなかみ温泉に入ってから、赤城山登山口の駐車場で乾杯。



武尊山



剣ヶ峰山



尾根からの景色



武尊山山頂



剣ヶ峰山山頂

<3日目> 12/30（月） 晴れ後曇り 行動時間 2時間40分【松浦 記】

駒ヶ岳登山口駐車場（6:40）→ 駒ヶ岳頂上（7:30）→ 黒檜山（赤城山）頂上（8:10）
→ 黒檜山登山口（9:00）→ 駒ヶ岳登山口駐車場（9:20）

最終日は、愛知に帰還するため行動時間の短い赤城山にした。ただ赤城山を登るだけではつまらないので駒ヶ岳、黒檜山の順で周回コースを選択。気温はそこそこ冷えたが周りを見渡してもどこにも雪はない。周りの登山者も軽装ばかりのためアバランチギアは車に置き、軽装で登山開始した。谷川岳、武尊山とは異なり多くの登山者がおり子供連れも多く、ここはハイキングの山だと感じた。登山道はどこも危なくもないし、雪も全くなし。各所に展望の良い場所があり、富士山もくっきり見ることが出来た。駒ヶ岳から黒檜山を周回しさらっと終わってしまった。赤城神社にて登山御守り（800円）を購入し、愛知への帰路についた。



赤城山山頂



大沼と赤城神社



赤城駒ヶ岳頂上



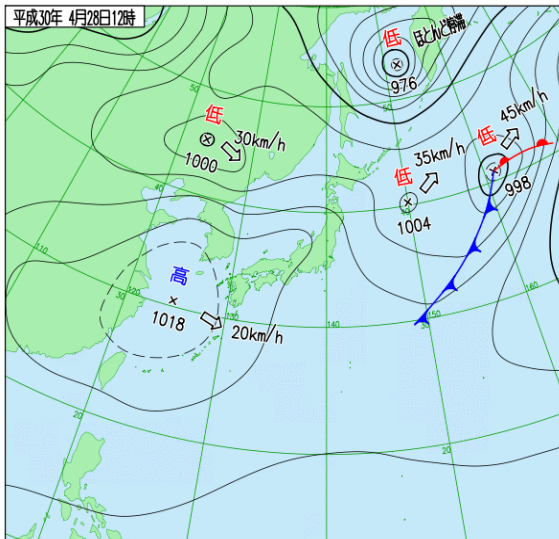
遠くに富士山を望む

<装備報告> 【松浦】

事前情報で雪は少ない事は調べていたがアバランチギアとエスパーステントなどを用意した。今回は2名での合宿だったのでテントも使用せず、山小屋と車中泊で過ごした。気候は暑いくらいで防寒着もほぼ必要ない程であった。

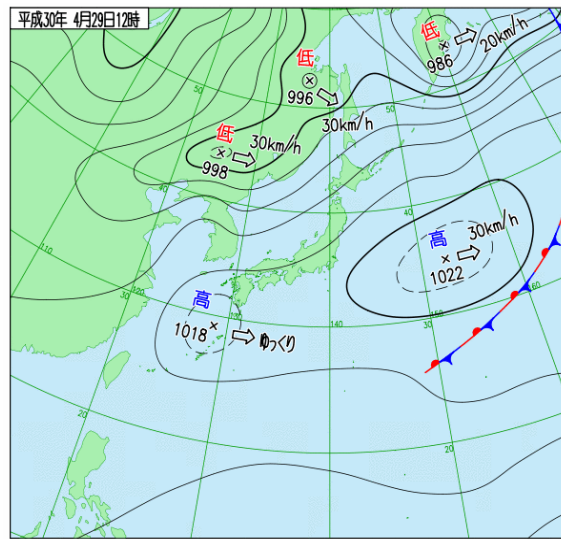
< 気象報告 > 【松浦】

・ 4月28日



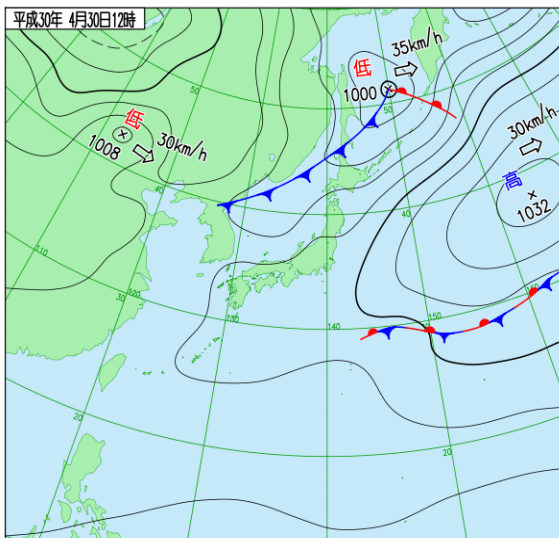
高気圧が張り出してきて晴天

・ 4月29日



高気圧に覆われ一日中晴天

・ 4月30日



午前中は晴天だが午後から低気圧が張り出し
午後から曇り

< 会計報告 >

「高速代」 合計 15260円 (7630円/人)
 行き：名古屋→水上 9160円
 帰り：水上→沼田 400円 赤城→佐久南 2060円
 新和田トンネル有料道路 620円 岡谷→せと赤津3020円
 「ガソリン代」合計 12125円 (6062.5円/人) 970km÷10×125
 谷川岳ロープウェイ駐車場 1000円
 谷川岳ロープウェイ下山使用 1230円

消耗費：4850円（970km×5）

食費：各自

<食料報告> 【松浦】

	4月28日	4月29日	4月30日
朝	各自	各自	各自
昼	各自	各自	各自
夜	各自	各自	各自

※毎日下山のため朝食・夕食は地元のスーパーで食糧調達

※昼食は行動食で補う

<リーダー所見> 【松浦】

デンソー山岳部60周年に向けての百名山チャレンジイベントに乗っかり、群馬の百名山3座を巡る合宿を計画した。雪解けが早いせいか思ったほどの雪はなく、逆にそれが歩きにくかったが、風もほとんどなく、3日間に渡り晴天に恵まれ各山々からの展望にも恵まれ、本合宿の目的である雪山初心者のステップアップにはこれ以上ないコンディションであったと思います。特に2日目の武尊山では剣ヶ峰山からの下山で、雪の急坂をアイゼン、ピッケルを駆使して降りる練習になり初級ながらもレベルアップに繋がる良い経験が出来たと思います。この経験を生かして今後も雪山の安全登山に繋がれば良いと思います。今回は天候に恵まれましたが、雪山は天候や雪の状況など素早く判断して行動に移す事が大事ですので、これからもそういった判断力を磨いて伝えていけたらと思います。参加者がいなければソロで行くつもりでしたが、同行者もいて楽しい山行となりました。同行メンバーに感謝します。

<感想>

岸上

アイゼン、ピッケルを使用する雪山山行は前回の立山に続き2回目でしたが、今回は谷川岳でのトレースがない尾根道でのルートファインディングや2日目の剣ヶ峰山からの急な雪斜面での下山など勉強になることが多く有意義な合宿になりました。これからの2、3年は雪上訓練委積極的に参加して雪上スキルを磨きたいと思います。